

「健康経営優良法人 2019～大規模法人部門～(ホワイト500)」に認定

当社は、2019年2月21日に経済産業省と日本健康会議<sup>※1</sup>より、社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人として昨年に引き続き「健康経営優良法人 2019～大規模法人部門～(ホワイト500)」に認定されました。

2018年度の活動の中では、さらなる「健康でいきいきした職場」を目指し、健康管理センターの強化など支援体制を拡充しました。また、「健康いきいきワールドカフェ」など従来の活動に加え、「園遊会(本社地区)」「運動会(一関地区)」といった職場の活性化に向けたイベントを開催するなど、取組みを強化しました。今後も様々な取組みを通じて社員の健康増進を推進していきます。

「健康経営宣言」

「社員そして家族の健康を会社の財産ととらえ、世界中のお客様に“快適で安心な空間”を提供する企業として、“いきいきした職場”で、社員一人ひとりが、健康で“しあわせ”と“よろこび”を実感できる持続的企業へ」



2019  
健康経営優良法人  
Health and productivity  
ホワイト500

【「健康経営」に関する主な取組み】

1.健康支援体制の強化

- ・昨年に引き続き「健康経営最高責任者(CHO)」には経営トップが就き、社員の健康支援体制に積極的に投資。
- ・支援体制(スタッフ、医療職)をさらに強化し、医療職からの積極的なケアを実施。

2.心と体の健康増進に向けた取組み

- ・栄養管理士によるランチセミナー、健康保険組合との共催による卒煙セミナーなど、健康増進に関する各種セミナーや、ウォーキングイベントの開催によるヘルスリテラシーの向上。
- ・10%ルール制度など働き方の多様化、労働時間の短縮など健康経営の視点からの働き方改革の実施。

3.職場の活性化に向けた取組み

- ・従来の活動を拡大した「健康いきいきワールドカフェ」を開催。
- ・社内コミュニケーションの活性化を図るため、社員・家族向けイベント「園遊会(本社地区)」「運動会(一関地区)」を実施。

《ご参考》

2018年度から、地域社会貢献を目的に「健康経営」啓発活動も始めました。

- ・健康いきいき職場づくりフォーラム<sup>※2</sup>会員として、会員企業・団体、東京大学、北里大学と連携しての活動。
- ・神奈川県 CHO 構想の事業推進企業としての活動。
- ・川崎市の企業・団体への健康経営を支援する活動。

※1 日本健康会議：国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行う活動体。

※2 健康いきいき職場づくりフォーラム：「健康いきいき職場づくり」の概念と具体的方策を国内に広く普及し、これを通じて働く人の心身の健康増進と企業の生産性向上を支援することを目的に、公益財団法人日本生産性本部と東京大学大学院医学系研究科精神保健分野が共同で設立した団体。

\*健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

お問い合わせ先